

コープ 2018 年北海道地震ボランティア応援基金助成決定報告

北海道生協連
平 照治

2018年9月発生の北海道胆振東部地震に際し、全国の生協組合員・連合会から寄せられた募金3億6千万円余の一部900万円を19年度から3年間の被災者支援活動の助成支援にあてさせていただくとこととしました。ついては、2020年度分(総額300万円)の助成につき決定しました故、ご報告させていただきます。

尚、2019年度分(総額500万円)の活動報告書については、北海道生協連HP(<http://www.doren.coop/>)に掲載させていただいております。全国の生協の皆様には、報告書を持って、お礼に代えさせていただきます。

<2020年助成団体一覧>

Aコース 3団体 250万円

団体名	事業名	事業内容	所在地	助成額
NPO 法人とあさ村	コミュニティサロン「みんなの家」運営事業	当会の拠点である「みんなの家」に障がいのある方の避難所機能を整備し、コミュニティカフェを毎週1回運営、そして年1回復興支援イベントを開催し地域住民の交流を促進する。	安平町	90万円
あつま森林むすびの会	厚真町の森林における自然体験教育活動推進事業	厚真町立上厚真小学校にて、NPO 法人北海道市民環境ネットワークと協力しながら上厚真小学校児童と共に町内の森林から採取した種子等を利用して苗木の生産を行い、北海道胆振東部地震によって崩壊した森林に対して植樹活動を行う。また、厚真町での自然体験教育活動の推進を図るため、当該会員及び厚真町教育委員会、教職員等に向けた講習会を行うと共に実際に町内で自然体験教育の場を提供する。	厚真町	90万円
安平町復興ボランティアセンター	コミュニティスペース「ENTRANCE」拠点環境改善事業	住民、観光客、子どもたちが利用できるコミュニティスペースについて、1.ゴミを撤去して会議室を作る、2.LED照明をつけて電気代を節約する、3.ウォシュレット付トイレにして、機能を高め、スペースの快適な利用と持続的運営を実現する。	安平町	70万円

B コース 5 団体 50 万円

団体名	事業名	事業内容	所在地	助成額
オレンジたすきで繋ぐ ippo	仮設住宅に花を	昨年に続き仮設住宅に花を置く活動、今年は福祉施設にも設置する。気温上昇時にかき氷を提供したり、その他必要な支援をする。	厚真町	10 万円
厚真手話の会 てのひら	手話に親しもう！	厚真町在住の聴覚障害者(会員)と苫小牧在住の聴覚障害者の方を講師に迎え、新たにテキストや手話辞典を導入し、初心者向け、会員向けに分けて手話を学ぶ。	厚真町	10 万円
あつまっふる	仮設住宅で体操教室	部屋にこもらず隣近所の交流を深め心のケアに努め、軽い運動、脳トレ等、笑顔を引き出し継続すること。毎週、本郷仮設、上厚真仮設、表町仮設で実施。	厚真町	10 万円
Office あっぷ・ろーど	中学生・高校生のためのサードプレイス『Light House』運営事業	週1回約2時間、自主学習スペースの運営、震災での経験を振り返り、子どもたちの声を届けるフリーペーパーやウェブコンテンツの作成、災害FMと連携した企画づくりを行う。	厚真町	10 万円
あつま森のようちえんワッカ	親子での自然体験活動	厚真町内での自然体感活動(森での自由遊び、創作遊び、山菜採り、生き物観察、季節の植物観察等)、厚真町ならではの農体験や食育体験(米作り体験、ハスカップ、コクワ体験等)。	厚真町	10 万円